

乗務員教育記録簿用紙

西北交通株式会社

乗務員への指導・監督の記録

実施月日 令和5年10月12日

時 間 9時00分～11時00分

場 所 北上本店 営業所

検  
印

非公開

非公開

営業所名 北上本店営業所 北上さくら営業所 矢巾営業所

【一般的な指導事項】

- ①事業用自動車を運転する心構え
- ②事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ③事業用自動車の構造上の特性
- ④乗車中（運行中）の旅客の安全を確保（シートベルトの着用等）するために留意すべき事項
- ⑤旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ⑥主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑧運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
- ⑨交通事故に関わる運転者の生理的（睡眠不足等）及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ⑩健康管理の重要性
- ⑪安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ⑫ヒヤリハット体験の報告や運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対してドライブレコーダーにより必要な指導を行う
- ⑬⑫のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験を共有する
- ⑭非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

※ 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法

[危険予知訓練の実施及び危険回避の方法の周知並びに事故発生時、災害発生時における対応方法の指導]

指  
導  
の  
内  
容

1 危険予測の考え方

①どのような危険を予測するか

・安全運転とは危険を予測する運転 ・危険予測のポイント

・見える危険だけではなく「見えない危険」を予測する ・時間帯による変化を知ろう

②危険を予測するための知識

・相手の行動特性をよく知る ・危険予測のために知識を身に付ける

③自分の心の中にある危険を予測する

・正しい判断をするには冷静な心身状態が必要 ・自分の中にある危険を読む

④緊急時における対応

・バスの運転者は、乗客への責任を果たすためにも交通事故や車両故障発生時、自然災害に備えて適切な対応をとることが必要です。

2 危険予測訓練の実施方法

①危険予測訓練の方法はいろいろありますが、今回はJAFの動画を利用した訓練とする。

②ドラレコ画像を活用した危険予測

③出発前に一人で行う危険予測

3 指差呼称（安全呼称）の活用

漫然運転を防ぐために呼称運転を実施

交通事故の約3割は「安全不確認」で起きており、安全確認を行うには「呼称運転」が有効です。

裏面へ

指導 ・ 教育 の 内容	※ 10月の重点管理（視界の悪い薄暮・夜間の事故防止） ● 早めのライト点灯を指導する 薄暮・夜間は視認性が悪化するため、早めのライト点灯が欠かせない。日没30分前を目安にライト点灯を指導する。				
	● ハイビームを基本とした運転の実践 夜間運転では、先行者や対向車がいる場合を除いてヘッドライトをハイビームにして、より遠くの危険を早期に発見することを徹底させる。 ● 道路右側から横断する歩行者に注意 夜間、道路右側から横断してくる歩行者との事故が多発している。横断歩道外であっても横断してくる歩行者がいることを周知しておく。				

氏名	記名又は印	氏名	記名又は印	備考
----	-------	----	-------	----



非公開

※この教育記録は営業所で3年間保存すること。